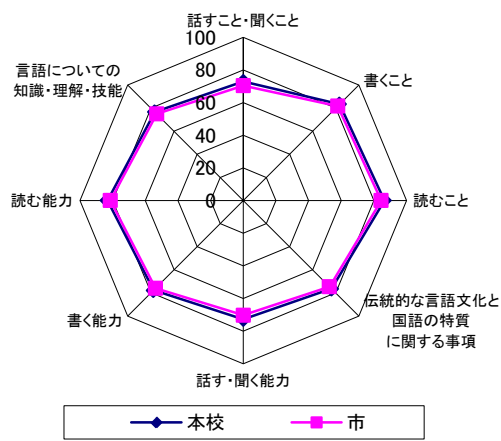


宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	72.8	70.3	68.2
	書くこと	83.3	81.7	80.6
	読むこと	86.3	84.3	84.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.4	74.7	72.7
観点別	話す・聞く能力	72.8	70.3	68.2
	書く能力	77.8	76.0	74.1
	読む能力	83.2	81.3	81.1
	言語についての知識・理解・技能	76.7	74.9	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○正答率は72.8%であり、市の平均を上回っている。 ○話し合いの内容を聞き取り、計画的に話し合うためにどうすればよいか、記述する設問については、正答率が57.6%であり、市の平均を7.6ポイント上回っている。	・国語の授業の中で、話し合う学習を充実させてきたことや、めあてを明確にしてスピーチなどをさせてきたことが効果を上げていると思う。今後も国語の授業の中で話し合う学習を充実させていくだけでなく、他の教科の授業でも言語活動の充実化を図り、積極的に話し合う態度や技能の育成を図っていく。
書くこと	○正答率は83.3%であり、市の平均を上回っている。 ○グラフから読み取った事実をもとに、自分の意見を書く設問においては、正答率が95.1%であり、市の平均よりも7ポイントほど上回っている。	・『書く』単元では、目的意識、相手意識を持たせて書く指導を徹底してきたことが、効果的だったと思われる。今後も、ただ文章を書かせるのではなく、児童が書きたいと思うような題材を選定し、その上で目的意識、相手意識が持たせるように指導し、書く指導を行っていききたい。
読むこと	○正答率は86.3%であり、市の平均を上回っている。 ○物語文を読んで登場人物の心情や場面の描写を読み取る設問では、4問中3問が市の平均を上回り、説明文を読んで文章の内容を読み取る設問では、4問中全ての設問で市の平均を上回っている。	・物語文では、時空間に着目させ、場面がどこで切り替わるのかを読み取ったり、中心人物の心情が場面によってどのように変化したのか、変化したきっかけは何だったのかを読み取ったりしてきた成果であると思われる。 ・説明文では、接続語や文末表現に着目させ、文章の構成を理解させながら指導を行ってきた成果であると考えられる。 ・今後も、初めて読む文章でも内容が理解できるように、指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○正答率は76.4%であり、市の平均を上回っている。 ○4～6年生の配当漢字を読む設問では、4問中全ての設問で正答率が85%を越え、市の平均も上回っている。 ●5学年の配当漢字を書く設問においては、4問中3問が市の平均を下回っている。	・毎日の家庭学習で音読をしてきたことで、漢字を読む力が身についてきたと思われる。 ・漢字を書くことに関しては、繰り返し指導してきたが、今後はただ練習させるのではなく、部首に着目させたり、熟語から漢字の意味を連想させて覚えさせたりするなど、興味を持って覚えるような工夫をしていきたい。